

令和 4 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	海田町立海田中学校	校長	河北 光弘	生徒指導主事	村岡 主税
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『相手を大切にする』『自身を大切にする』
-------	----------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力・ 情報活用能力」	2	「主体性・思考力・協調性」	1	「自己理解・アイデンティティ」	3

取組のねらい

- ・悩み（問題）を抱えている友達に対し、どのような態度や声掛けを行うのがよいのか考えることで、相手への思いやりや相手の立場に立った言動を考えようとする態度を育てる。
- ・SC、SSW の存在を広く周知し、生徒の相談の幅と機会を広げる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『他者理解・思いやり、専門的知識の活用』
----------	---------------------------------

<p>1 いじめに関する学年授業を実施した。</p> <p>(1) 相手の気持ちを考える</p> <p>① 悩んでいる人物の写真を見て、どのような声掛けをするのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの友だちが悩んでいます。あなたならどのような声掛けをするかを考える。 ・自ら書き込んだセリフをペアに掛け合う。 ・声をかけた側の思いと掛けられた側のそれぞれの思いを共有する。 <p>(2) 「悩み」「困ったこと」への対応について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困った人の周りの視点と当事者としての視点での対応について SC から講話を受ける。 <p>2 道徳での教科書教材に加え、生徒の生活レベルでのいじめについて考え、交流する教材や指導法を取り入れた。</p> <p>(1) いじめの現状について知る。</p> <p>(2) いじめの具体について考え、交流する。</p> <p>(3) いじめをなくすために自身ができることを考え、交流する。</p>	<p>SC、SSW の参加による専門的知識の活用。</p> <p>被害者だけでなく、加害者を救済する視点をもつ。</p> <p>自分事として捉えさせる。</p>
--	--

取組の成果と課題

- 本授業を行うきっかけとなった事案に関わる生徒に変容が見られた。
- 実施学年の SC、SSW への相談件数が増え、悩みや課題を抱えている生徒への対応ができた。
(SC、SSW の利用者が 4・5月の月平均 3 人が 6 月以降は月平均 6 人となった)
- 第 2 学年での実施に留まり、他学年での実施も検討する。